

# 施工要領書

床下物入れ/床下点検口 断熱気密タイプ 600型 (BHS2 600/SHS2 600)

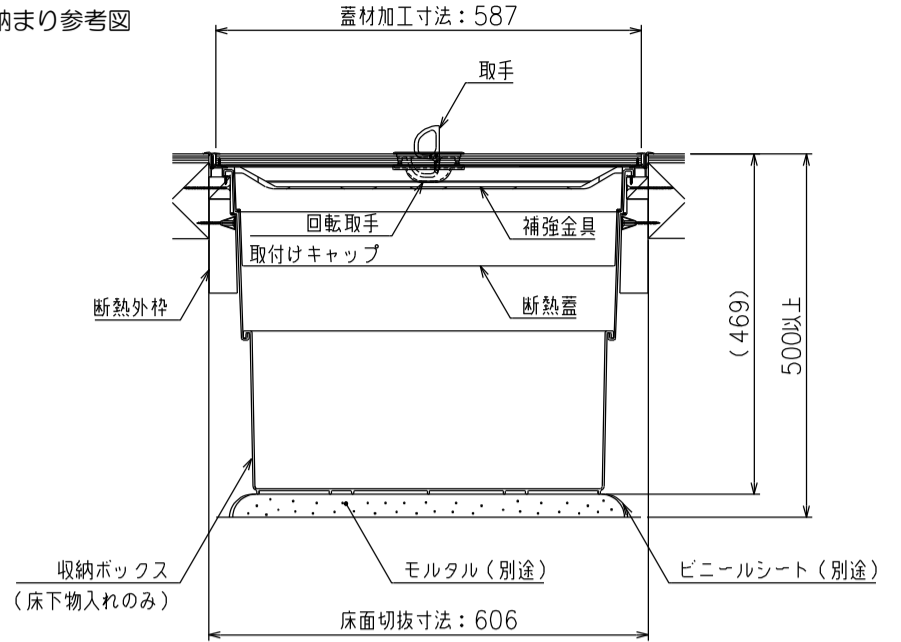
## 安全に関する注意

- 断熱材(断熱蓋・断熱外枠)は
  - ▼火気厳禁/可燃物です。火気を近づけないでください。
  - ▼有機溶剤・石油厳禁/シンナー等に接触させると溶解します。
  - ▼直射日光厳禁/紫外線によって劣化します。
  - ▼高温厳禁/変形するので70℃以上のものを近づけないでください。

## 使用上の注意

- 指をはさむ恐れがありますので、蓋を開けた際は横に置いてください。
- 床面や部材を傷つける恐れがありますので、横に置いた蓋の上にはのらないでください。
- 転倒や落下の恐れがありますので、使用後はすぐに蓋を閉めてください。

納まり参考図



### 1. 付属部品

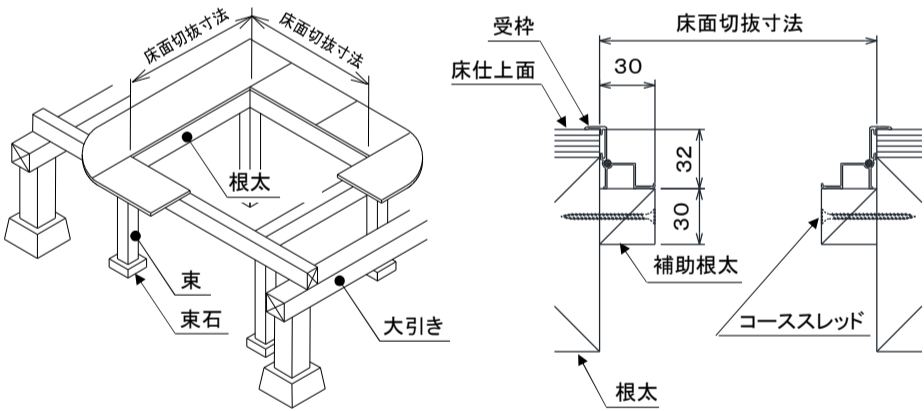
付属部品名	入数	付属部品名	入数
取手	1	なべタッピンねじ (4×12)	8
回転取手取付けキャップ	1	丸棒気密材 (2.3m)	1
なべ小ねじ (M4×16)	2	断熱外枠ホルド樹脂*	4
平座金 (呼び径4)	2	さらタッピンねじ (3.6×50) *	4
さらタッピンねじ (3×12)	16	バスケット (床下物入れのみ)	1
補強金具	2		

### 2. 床組み

- 床面切抜寸法で床下物入れを設置する床面を開口し、根太を全周にまわします。  
※床下物入れとして使用の場合は、床面から地面まで500mm以上を確保してください。
- 床面開口部に受枠を仮置きします。
- 床仕上面から32mmの段になるように、30×30mmの補助根太をまわします。

床面切抜寸法(mm)  
606×606

- △床の強度は、束を入れ十分確保してください。
- △切抜いた床材は、蓋材に使用してください。
- △改築の場合、下面の配管にご注意ください。
- △補助根太はコーススレッド(L=60mm以上を推奨)で取付けてください。(1辺5本以上の取付けを推奨)

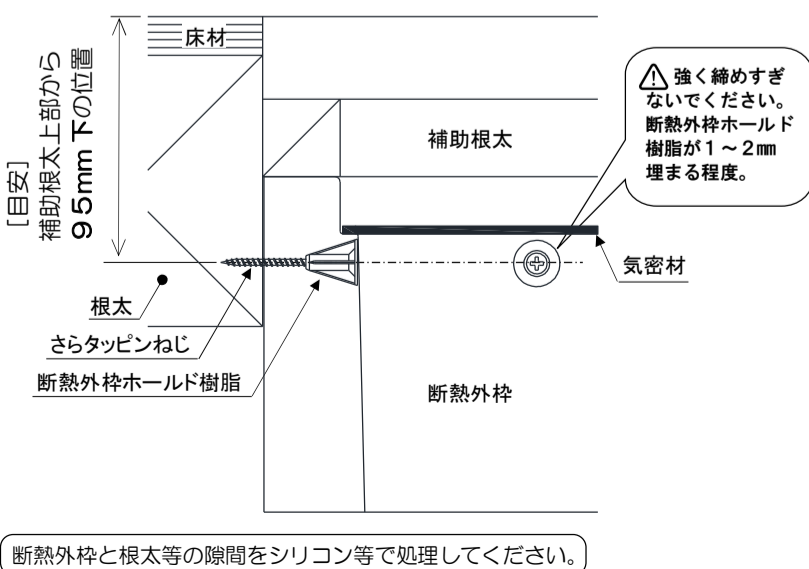


#### ★施工のポイント

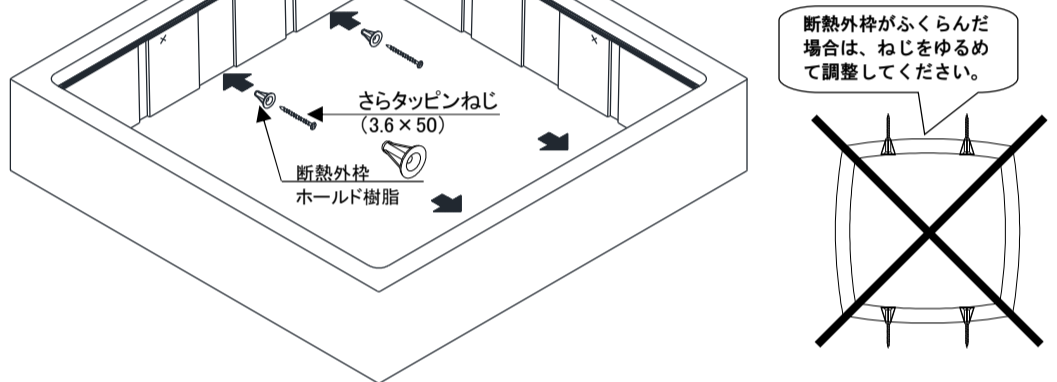
補助根太取付けの前に、「3. 断熱外枠の取付け」に備えて断熱外枠を床下に入れておくと施工が容易になります。

### 3. 断熱外枠の取付け

- 断熱外枠を床下に入れ、気密材の付いている面を上向きにして、補助根太の底に押し当て、断熱外枠ホルド樹脂とさらタッピンねじ(3.6×50)で取付けます。



【断熱外枠ホルド樹脂取り付け位置】  
 ◆断熱外枠の対向2辺各2箇所(計4箇所)  
 ◆断熱外枠内側側面にある×印の位置(補助根太上面から63mm下の位置)



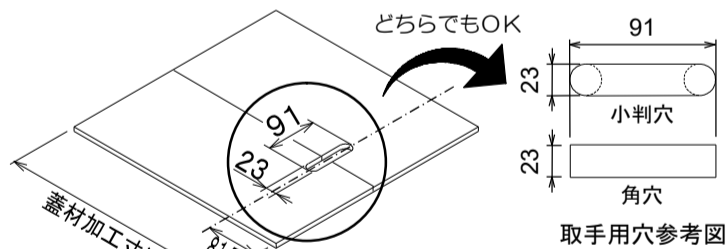
△断熱外枠ホルド樹脂にて断熱外枠を固定した際に、断熱外枠がふくらんだ場合はさらタッピンねじ(3.6×50)をゆるめて調整してください。

### 4. 蓋材の加工

- 蓋材加工寸法に、蓋材(切抜いた床材)を切断し、下図のように端から81.5mm・センターの位置に取手用の開口、小判穴または角穴(23×91)を設けます。

蓋材加工寸法(mm)  
587×587

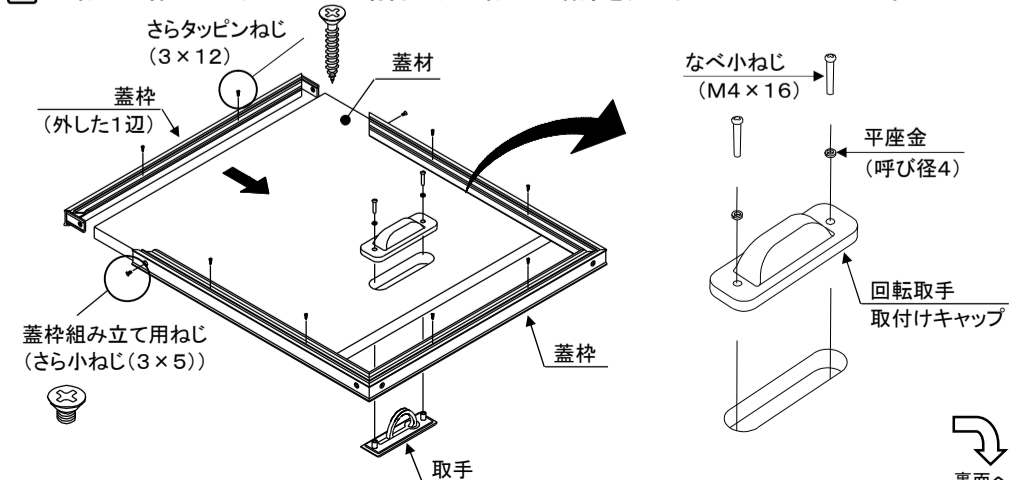
- △蓋材の厚みは、合計で15mmになるようにしてください。
- △板材で継ぎ目がある場合は、継ぎ目が中央にくるように切断し、必ず捨て貼り(接着)を行ってください。
- △15mmのフロア材で2枚以上繋ぎ合わせる場合は、ご使用になれません。



※取手用の開口は小判穴または角穴(どちらでも可)

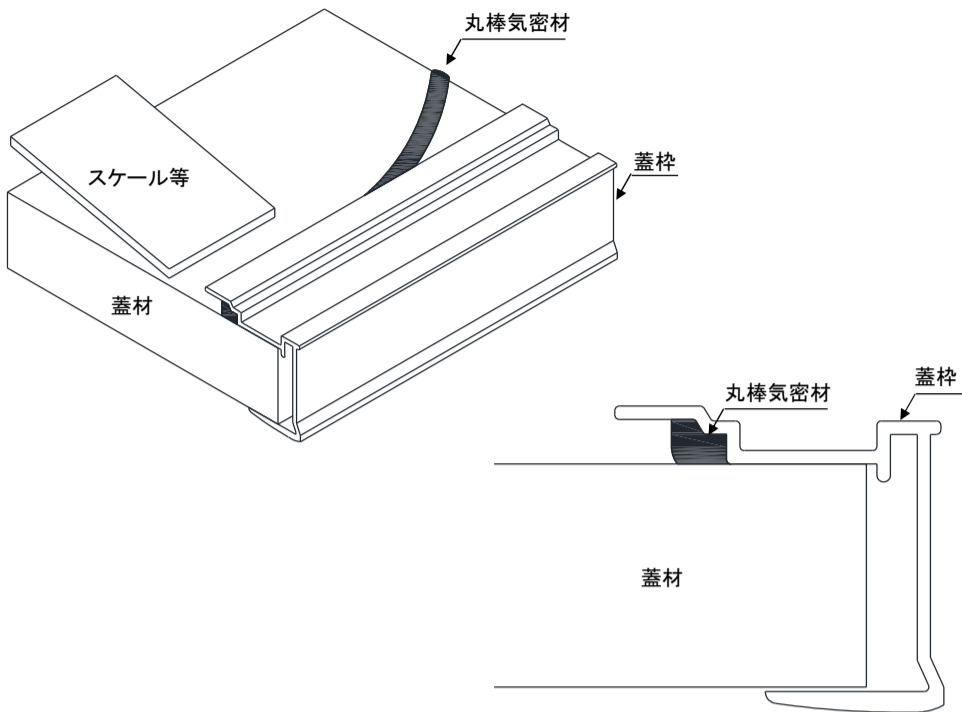
### 5. 蓋の組み立てI

- 蓋枠の1辺を外します。  
このとき、外す辺の左右2辺の蓋枠組み立て用ねじ(2箇所)を外して、蓋枠1辺を外してください。
  - 加工した蓋材をスライドさせて蓋枠に入れます。
  - 蓋枠の外した1辺を再度組み立てます。
  - 蓋枠裏側よりさらタッピンねじ(3×12)で固定します。(各辺2箇所×4辺:計8箇所)
  - 蓋材になべ小ねじ(M4×16)で、取手と回転取手取付けキャップを取り付けます。
- △蓋材が蓋枠にはめ込みにくい場合は、蓋材小口端部を少し面取りしてください。



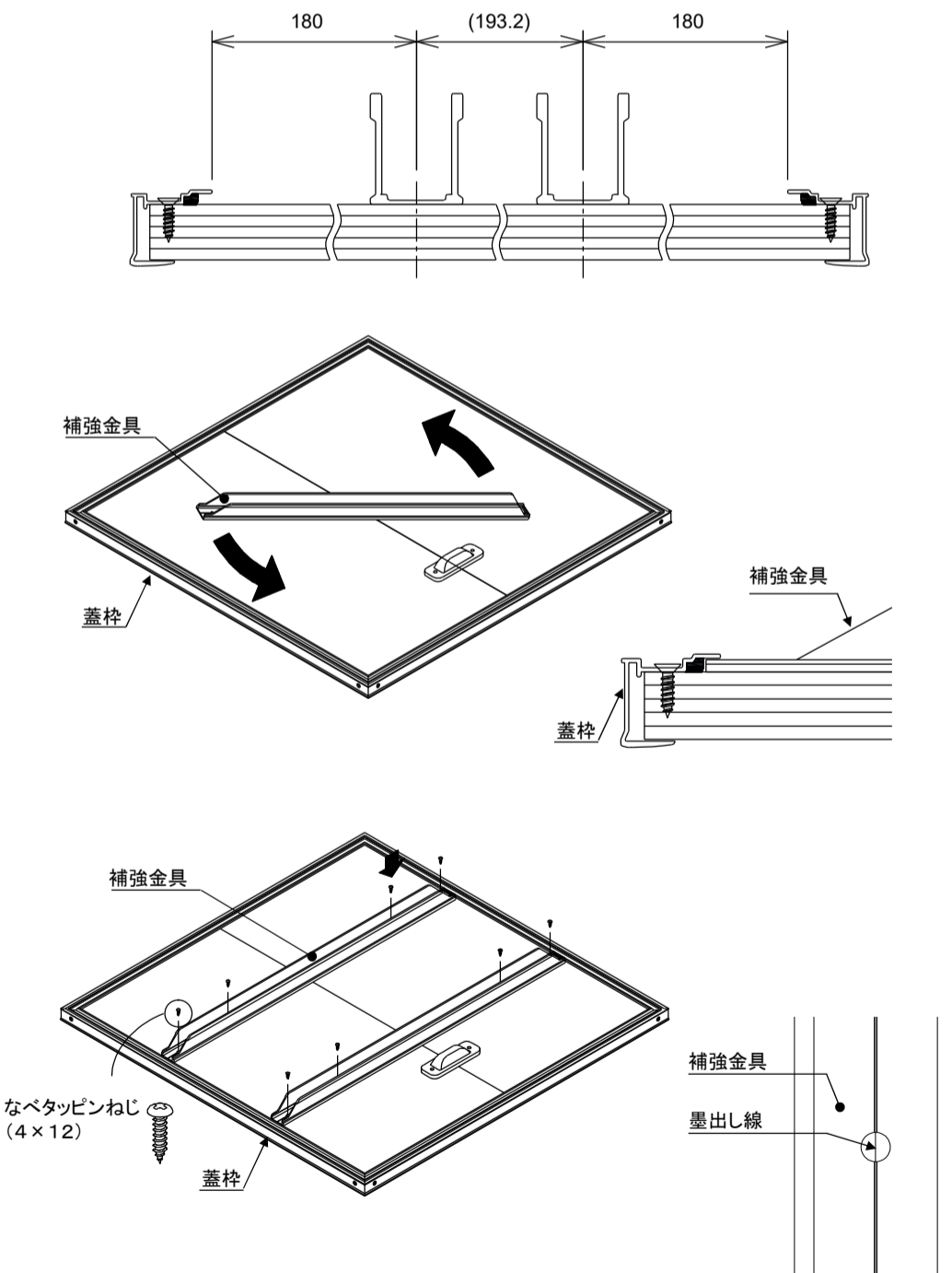
## 6. 蓋の組み立てⅡ

- ①組み立てた蓋裏側の、蓋材と蓋枠の隙間に丸棒気密材をはめ込みます。  
4辺に丸棒気密材をはめ込み、余った丸棒気密材を切断してください。  
※丸棒気密材は、スケール等のうすい物を使用して押し込むと、はめ込みやすくなります。
- ⚠丸棒気密材の継ぎ目に隙間ができないよう注意してください。



## 7. 補強金具の取付け

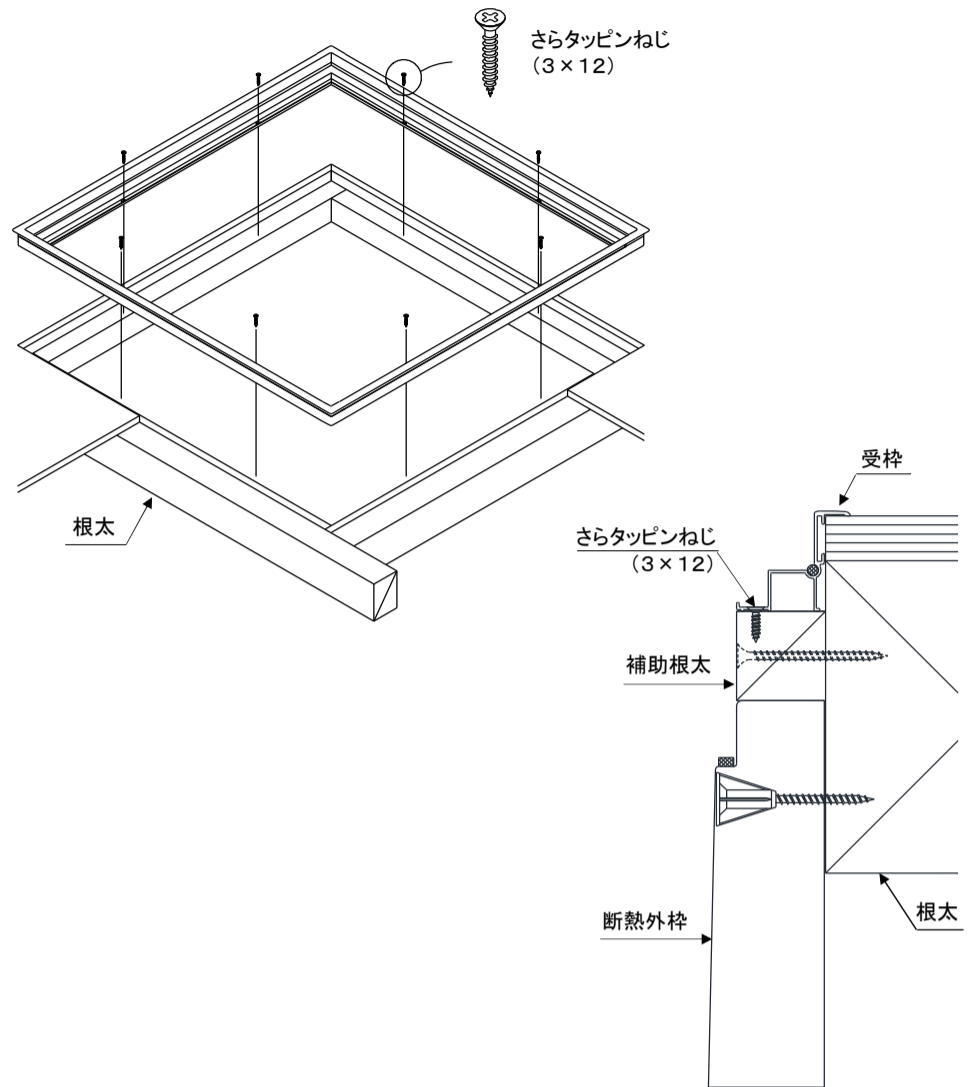
- ①蓋材の裏面に下図寸法になるように墨出しを行います。  
※このとき、板の継ぎ目と直角になるようにしてください。
- ②補強金具を回転させ、端部を蓋材の裏面と蓋枠との間にはめ込みます。
- ③補強金具を①の線上に置き、補強金具のねじ穴の中央を墨出し線が通っている事を確認しながら、なべタッピンねじ(4×12)にて固定してください。



⚠蓋補強材は必ず上図の位置にくるように取付けてください。

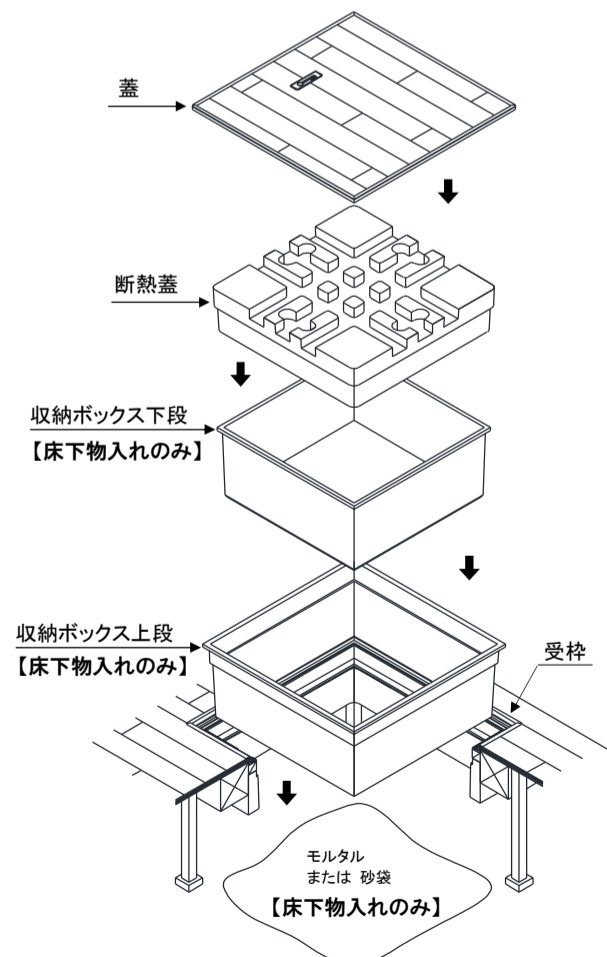
## 8. 受枠の取付け

- ①受枠を、開口した床面にはめ込みます。
  - ②受枠と床面、受枠と補助根太の間に隙間が生じないように注意し、さらタッピンねじ(3×12)で補助根太に固定します。(各辺2箇所×4辺：計8箇所)
- ⚠蓋および受枠の対角寸法差は、必ず対称の対角寸法と寸法になるように施工を行ってください。



## 9. 収納ボックス・断熱蓋・蓋の取付け【①～③は床下物入れのみ】

- ①収納ボックス本体の下部を受けるように、モルタルまたは砂袋を敷きます。  
(モルタルにて施工の場合は、モルタルの上にビニールシート等を敷いてください。)
  - ②収納ボックス上段を受枠に確実に引っ掛けるようにはめ込みます。
- ⚠収納ボックス上段は受枠に引っ掛かる構造になっていますので、確実に引っ掛かっている事を確認してください。
- ③収納ボックス下段を収納ボックス上段に確実に引っ掛かるまで押し下げます。
- ⚠収納ボックス下段は収納ボックス上段に引っ掛かる構造になっていますので、確実に引っ掛かっている事を確認してください。
- ④断熱蓋をはめ込みます。
  - ⑤蓋をはめ込みます。



■製品に関するお問い合わせ・ご相談は  
お客様相談センター

タキロンシーアイ株式会社

0120-877-115 (受付時間 平日 9:00~17:00)

※土・日・祝日・年末年始・お盆は休みをいただいております。  
※間違い電話が増えておりますので、番号はよくお確かめのうえ、おかけください。